

第3回 栗東市健康づくり推進協議会 要点録

(2023年2月24日作成)

1	会議の名称	第3回 栗東市健康づくり推進協議会		
2	会議の開催日時	2023年2月21日(火) 13時30分～15時30分		
3	会議の開催場所	栗東市総合福祉保健センター 集会室	公開の可否	可
4	事務局(担当課)	健康増進課	傍聴者数	0名
5	非公開の理由 (非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
6	協議事項	(1) 第3次健康りっとう21計画の期間について (2) 市民アンケート調査結果(追加分析等)について (3) 令和4年度健康づくり推進の進捗ならびに令和5年度の計画について (4) 「栗東らしい健康」マンダラシート作成について (5) ヒアリング調査の実施概要(案)について (6) 令和5年度の計画策定スケジュールについて (7) その他		
7	審議等の内容	別紙のとおり		

第3回 栗東市健康づくり推進協議会 要点録

(2023年2月21日(火)開催)

開会

事務局

定刻になりましたので、第3回栗東市健康づくり推進協議会を開催します。開催に当たりまして、市民憲章を唱和します。

(市民憲章唱和)

事務局

会長よりご挨拶をお願いします。

会長

調査結果がメインになるかと思います。前回に引き続き皆様から忌憚のないご意見をいただき、栗東市の健康づくりについて考えていきたいと思っています。

事務局

ありがとうございます。

まず、委員の交代について説明します。

民生委員児童委員協議会連合会において、奥村委員が退会され、富永委員に交代されています。令和6年3月31日までの任期となっております。

本日欠席される委員は小田垣委員、富永委員、奥村委員、中村委員の4名です。

それでは本日の資料を確認します

(配布資料の確認)

事務局

それでは、会長に議事進行をお願いします。

会長

協議に移る前に、協議会の公開について事務局に確認します。傍聴者はいかがでしょうか。

事務局

本推進協議会の傍聴の申し込みはありませんでした。

しかし、本市では「栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領」において会議は基本的に公開となっております。内容によって非公開に該当する事項がある場合は、協議により公開・非公開の決定をいただきます。会議を非公開とするのは主として個人情報や財産の保護、事業の意思形成過程にあるため公開にすることで支障が生じる場合などです。

この推進協議会においてはそのような理由に該当する事項がありませんので基本的に公開するものと考えられます。また議事録においても同様です。

つきましては、この会議を公開とすることについてお決めいただきたいと思っています。

事務局

特にないので、公開でいかがでしょうか？

会長

委員の皆様、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

会長

ありがとうございます。

それでは、本協議会を公開といたします。

(1) 第3次健康りっとう21計画の期間について

会長

協議事項の(1)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

事務局より、計画の期間について説明をいただきました。

国の健康日本21は2000年から始まった計画です。国の計画の更新に則し、市の計画も12年間にすることになっているのですが、ご意見やご質問はございませんか。

特に質問等がないようですので、事務局の案を採用するという事で進めたいと思います。

事務局

議会へ12年という計画期間で説明したいと思います。

(2) 市民アンケート調査結果(追加分析等)について

会長

協議事項の(2)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

ただ今の説明について、質問等はいかがでしょうか。

委員

クロス集計について、年齢区分を60歳以上でまとめてみてはいかがか。

事務局

計画書に記載するときに60歳以上にまとめるなど、記載方法を検討します。

会長

健診の受診状況について、受けていないと回答した30-40歳代ではタイミングが合わなかったという回答が多かったです。

子どもの健診でセンターに来られた際にアプローチをしてみるという方法があると思います。

委員

46 ページについて、金勝は昔ながらの地域なので地域のつながりが高いのだと思います。その一方で大宝東はマンション群が多くて、地域とのつながりが弱いと思います。

金勝は自治会が強いから健康推進員の取組が進めやすいです。しかし、大宝は若い人が多いからか、健康推進員のメンバーが減っています。健康推進員を増やしたいですが、地域のつながりが弱いため難しいという状況です。マンションという地域のなかでつながりを強くするためにどうすればいいのだろうかと思いつつ、活動しています。

会長

栗東でできればモデルとなり、他市町にも広げていける貴重なご意見だと思います。

委員

自治会の協力が大きいと思います。

委員

大宝で生活している30歳代なので、ご意見の通りだと思いました。

駅が近いところでは入れ替わりが激しいです。自治会の役も1年単位で交代していますが、地域はおろか、マンション内のことを把握するのも難しいというのが現状です。

地域活動をやっていこうという意識の高い人が少ないと、健康推進員を見つけるのも難しいです。

また、小さい子どもがいると、預けるという問題があります。特に栗東市は子どもを預ける場所が少ないです。健診の必要性があっても、子どもを置いて受診に行けないのではないかと思います。

会長

子どもが健診を受けるときにお母さんも同時にできる項目を実施できれば、きっかけづくりにできるかもしれないと思います。

副会長

子どもの健診の際にお母さんの受診勧奨をされていたことはあると思います。

事務局

1歳半の健診の際に子宮がん検診の案内をしたりしたこともあります。

副会長

主婦層・休職されている方は健診を受ける機会がありません。

費用負担の少ない健診もあります。そのような健診の利用を促進するためにも、健診の啓発に加え、啓発だけでなく、子どもを預けるという課題への対応が重要です。

マンションで暮らしている方は自治会活動を避けるということが全国的にも問題になっています。

自治会活動を通じて良くしようというところがありますが、若い人は問題があると市役所に直接言いに行きます。ですが、公園の管理など、市役所に直接伝える前に自治会で話す必要があるということを理解していただけていません。このことを理解していただくのが難しいです。

会長

健診の案内のビラを撒くということに医院が協力することは可能でしょうか。

副会長

できますが、医院に頻繁に来る人と来ない人がいます。来ない人には届きません。

委員

子育て世代で小児科には行くことが多いです。薬局に行くことも多いです。

処方箋がなくても来て良いといってくれる薬局もあります。そういうつながりが大事だと思います。

副会長

調査結果では、まあまあ健康であるという回答が多かったです。

日本人は上から2つ目を選ぶ傾向があるとされており、結果に出ていると思いました。

私は金勝で生活しており、地域の会合に出ています。地域との関係性があるものの、忙しくなってしまうということで、地域活動に参加することにわずらわしさを感じるという人がいるのもわかります。

あまり関係性がない自治会にいきなり入っていくことは難しいです。参加しやすい自治会をつくっていくことが大切だと思います。

副会長

新しい枠組みを考える必要があるのかもしれませんが。

これまでと同じやり方で続けるのが厳しくなってきました。どういうやり方がいいのかわかりませんが、新しいアプローチを考えていく必要があります。

会長

若い頃は身体の健康に関心があり、年を取ることで生きがいや前向きな気持ちというところに関心が高くなるのかもしれないと思いました。

委員

年齢層が高くなるにつれ、病気で身体的な障がいにならず、内心に向かっていくところがあります。

滋賀県の健康寿命が男女ともに高いのは、生きがいや前向きな気持ちに対する関心の高さが影響しているのではないのでしょうか。良い傾向だと思います。

委員

市ではつらつ大学を実施しています。参加者は女性が多いです。

男性にも来ていただけるような講座を考え、地域でも声掛けをお願いしています。外に出て生きがいや交流を大切にしてほしいと思います。

委員

高齢の方がこころの健康を重視しているという調査結果でしたが、若い世代でも高くても良いのではないかと思います。

子どもは周りに合わせて無理をしがちではないかと思います。自分のこころの健康を守ることの大切さを伝えていくことも重要です。

委員

学区ごとにスポーツ推進員が活動しています。

大宝東では担い手が少なく、難しさを感じています。そのようななかでも、コミセンでスポーツを広めようと活動していただいています。

委員

就学前、保護者のこころの健康が子どもに影響しています。

子どもの問題であっても家庭の問題であることが多いです。保育園等は、送迎の際に保護者が誰かと交流できるのが強みだと思います。家族で困っていることがあればどこかにつなげられる環境をつくるよう努めています。

子どもを通じて保護者への啓発を意識していますが、忙しい保護者が多く、伝える機会を持っても十分に伝わっているとは限らず、数値としては上がっていません。

どういう風にしたら成果が上がるのか、現場で考えたいです。

(3) 令和4年度健康づくり推進の進捗ならびに令和5年度の計画について

会長

協議事項の(3)について、説明をお願いします。

事務局及び委員

(資料に沿って事業の進捗状況を報告)

(4) 「栗東らしい健康」マンダラシート作成について

会長

協議事項の(4)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

市民の皆様を受け取っていただくために啓発資料をわかりやすくするなど、ご意見をいただきたいです。

委員

滋賀県の項目と内容が被っても大丈夫でしょうか。

事務局

大丈夫です。

委員

活用のイメージがあればお聞きしたいです。

事務局

まずは現状の見える化ができればと考えています。

県では複数の項目を組み合わせた事業提案につないでいるようであり、そういった活用の仕方も検討できればと思っていますが、必ずしも県と同じような活用でなければならないとは思っていません。

委員

目標や方針が決まっていない中で手段だけ考えるのは難しいです。

ゴールが定まっていないと、何を書いたら良いのかわかりにくいです。

事務局

方針について、つまり活用のあり方についてはまだしっかりと考えなければならないと思っています。

まずは、栗東市らしい健康について現状を整理というところがこのマンダラシートのゴールだと考えています。市の良いところ、もっと良くしたいところについて、文章じゃなくて言葉だけでも結構なので書いていただきたいです。

会長

上手くまとまるかという問題はありますが、まずは現状整理ということでマンダラ作成を実施するという方向で調整したいです。

(5) ヒアリング量差の実施概要(案)について

会長

協議事項の(5)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

会長

なぜ高齢者でなく若い世代がターゲットなのでしょう。

事務局

若い世代の健康づくりについて、計画にしっかりと反映したいと考えており、ヒアリングの実施を考えています。

委員

調査対象は子育てをしている人限定なのか。

事務局

今回の調査方法では子育てをしている人が対象となると考えています。

会長

市内の企業等に協力いただいて、多様な若い世代のヒアリングを実施することができるのではないかと思います。

事務局

ご意見を踏まえて検討したいです。

会長

20～40代に対するヒアリングを実施するということに対し、ご意見はどうでしょうか。

副会長

若い世代が多いので調査をするというのは大事だと思うが、健診の機会に限定しているとバイアスがかかります。

企業に協力を仰ぐといったことを検討した方が良いと思います。

会長

栗東市の健康について考えるのであれば、50-70歳代についてもヒアリングをすべきだと思います。人数比を同じにする必要はないと思いますが、聞く必要があると思います。

(6) 令和5年度の計画策定スケジュールについて

会長

協議事項の(6)について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

その他

会長

その他連絡事項について、事務局より説明をお願いします。

事務局

(意見書について説明)

事務局

最後に副会長にあいさつをお願いします。

副会長

協議頂きありがとうございます。

高齢になられた方々のこれまでの取り組みがあって今の滋賀県の平均寿命につながっていると思います。

かつては沖縄が高かったですが、現在は変化しています。滋賀県も今後変化していく可能性があり、現在の寿命を維持するための健康づくりをいかに取り組めるか考えていく必要があります。

ありがとうございました。

会長

ありがとうございました。これにて、本日の推進協議会を終了します。

<閉会>